



消防の顔として、迅速・的確・親切に

国東市消防本部 通信指令員
重末 貴紀

通信指令員は、119番に電話した通報者から短時間で正確に情報を聞き出し、救急隊を出場させる役割を担っています。救急隊が現場に迅速に到着できるかどうかを左右する仕事であり、大きな責任が伴います。過去、緊迫した救急現場で、電話越しで通報者に応急手当を行っていただいたこともありました。傷病者が蘇生したと聞いた時の、あの感動は忘れられません。

通信指令室は、初動対応をする部署であると共に、消防組織の顔です。「自分たちの対応が組織全体の評価につながる」ということを常に意識し、迅速・的確・親切に対応できるよう、訓練を続けます。



国東市消防本部の救急隊・救助隊

市内の救急車の出場件数は、年間1400件超。その救急救命の現場は、救急車で駆け付ける救急隊の高度な知識と技術によって支えられています。

9月9日の「救急の日」に合わせて、熱き心で今日も市民の命を守る「救急救命業務」をご紹介します。

傷病者に寄り添い、最善を尽くす

国東市消防本部 救急救命士
波戸崎 郁

救急救命士は、救急現場から医療機関に搬送されるまでの間、傷病者の観察や救命処置を行います。また、心肺停止や重症傷病者に対しては、医師の指示のもとで医療行為を施します。人の生死に関わる仕事ですので、厳しい現実にも直面することもあります。ですが、救護した傷病者の方が元気に日常生活に戻られたと聞いた時は、何事にも代えがたい喜びと、仕事へのやりがいを感じます。

救急現場で心がけていることは、「傷病者やご家族に寄り添うこと」と「最善を尽くすこと」です。これからはさらに知識・技術を身に付け、市民の皆さんのお役に立てるよう努力します。



【119番救急通報の流れ】

通信指令員が対応している間、救急車は現場に向かっていきます。安心して、慌てずゆっくり、通信指令員の質問にお答えください。

主に下記のような内容をお聞きします。

- ① 救急通報なのか、火災通報なのか
- ② 現場の住所、世帯主名、目標物
- ③ 現場の状況(急病なのか、事故なのか)
- ④ 意識の有無や、けがの様子など
- ⑤ 年齢や性別
- ⑥ かかりつけの病院、病名
- ⑦ 保険証や診察券、薬手帳などの用意

普通救命定期講習会を開催します

あなたの知識が、尊い人命を救います。いざという時に備えて、学んでみませんか。

日時 10月18日(日) 午前9時～12時

会場 国東市消防本部
2階多目的ホール

内容 普通救命講習
(心肺蘇生・AEDなど)

募集人数 5～10名程度

応募期限 10月12日(月)

主に救急車の運転手をしています。急ぐことはもちろん大事ですが、傷病者に負担をかけないために、段差やカーブの際に車体が大きく揺れないよう気を付けています。



救急隊運転手
栗林 敬洋

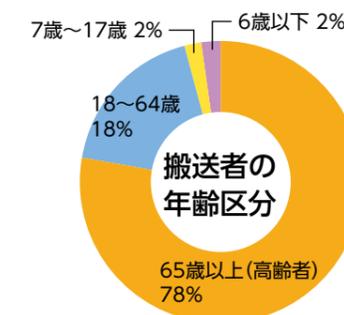
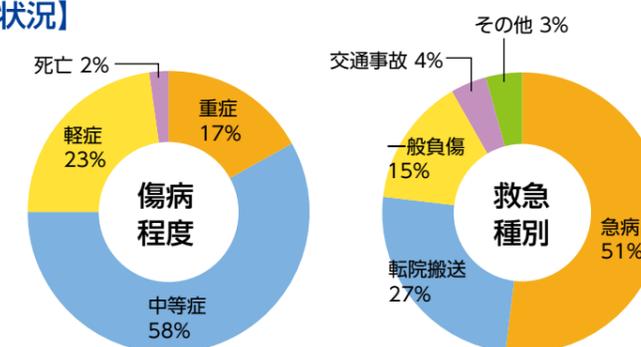
市内には3台(本署、国見出張所、南分署に1台ずつ)の高規格救急車があります。救急現場到着までの平均時間は、約8分。3人1組(うち最低1名は救急救命士)の救急隊が乗車しています。

救急救命

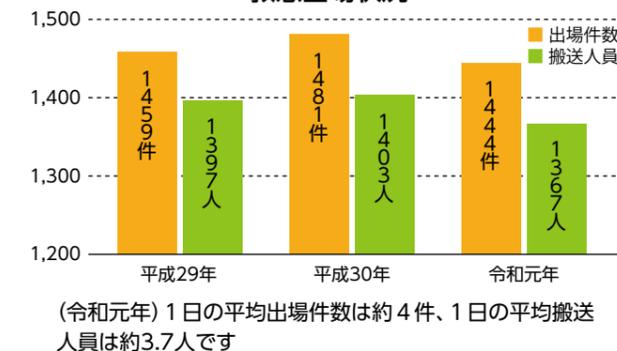
市民の命を守る、熱き心

【救急出場状況】

(令和元年)



救急出場状況



【救急車内の主な機材】



① 生体監視装置

バイタルサイン(心拍数、呼吸数、血圧、体温など)の観察を行います。

② 半自動体外式除細動器

医師の指示のもと、止まりかけている心臓に電気の刺激を与えて、心臓本来の動きに戻します。

③ 救急かばん

救急現場に携行するかばんで、血圧計、聴診器、止血用ガーゼなど、様々な器具が入っています。

【問合せ】 国東市消防本部 警防課 警防係 ☎0978-72-1177